第37回 法人会全国青年の集い 山形大会報告書

鳴門法人会青年部会長 森本 英樹

2023年11月9日と10日、山形県で開催された第37回法人会全国青年の集い山形大会は、約2000名の青年部会員が参加し、「為せば成る!~感謝と恩返しの想いを胸に~」をスローガンに掲げました。このスローガンは、地元の偉人上杉鷹山公の教えから着想を得ており、困難に立ち向かう意志と地域や企業の発展、未来への恩返しを象徴しています。

大会初日には、租税教育活動や健康経営大賞のプレゼンテーションが行われ、高松局連からは愛媛県連の伊予西条法人会が発表を行いました。その後、部会長ウェルカムパーティーが開催されました。

翌日、部会長サミットでは会員拡大や租税教育活動の効果について活発な議論が交わされ、地域社会への具体的な影響についても深く探求されました。

山中大介氏による記念講演「自らがリスクを取って挑戦する。だからこそ価値がある」では、山形での事業展開における行動の重要性と信念について語られ、地方の課題に対する示唆を提供しました。

大会式典では、租税教育活動プレゼンテーションの結果発表が行われました。最優秀賞は長崎県の佐世保法人会が受賞し、健康経営大賞は北那覇法人会とネッツトヨタ山陽が受賞しました。最後に、大会旗が次回開催地の福井に引き継がれ、大会は閉会しました。

大懇親会では、山形大学花笠サークルのパフォーマンスとお笑いコンビ「テツandトモ」によるショーが行われ、会場を盛り上げました。

最後に今回全国大会に参加させていただきました関係者の皆様には深く御礼申し上げます。先代への敬意を表し、次世代、未来の子供達に対して社会継承の意識を新たにする想いを強くすることができた大会になりました。